

2面 ハクオスポーツ 他

3面 2022年度決算報告

4面 教員・公務員合格者数、就職実績 他

青年期に大切な「遊び」の時間 学長 北山 修



世界は今、不安の中にいます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大、ロシアのウクライナ侵略など、予想もしな

できる場所です。学生の皆さんには、勉強だけでなく、感情や意

るいは社会的に認められた職業に就いたからといって幸せとは限り

奥島孝康前学長が、瑞宝大綬章を受章

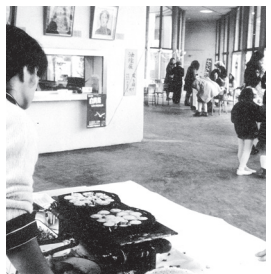


奥島孝康前学長(学事顧問)が2023年春の叙勲において、瑞宝大綬章を受章した。

11月4日、5日 記念すべき第50回「白鷗祭」を開催

今年で第50回を迎える白鷗祭が11月4日、5日の2日間、大行寺キャンパスで開催される。

今年で第50回を迎える白鷗祭が11月4日、5日の2日間、大行寺キャンパスで開催される。



第1回 白鷗祭

過去最多の1386名の新入生を迎えた入学式

4月3日、2023年度入学式が挙行された。大学院生を含む、1386名が新たに白鷗



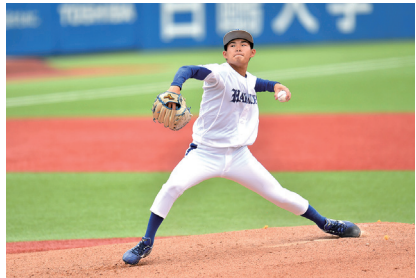
栗山監督からサプライズメッセージ

Table 1: In-school student numbers by department and year (2023 May 1 current).

Table 2: Faculty and staff numbers by category (2023 May 1 current).



チームを牽引する福島選手



2年生ながら堂々とプレーする松永選手



力投する山田選手



主将の千葉選手

硬式野球部が初の全国4強

硬式野球部が第72回全日本大学野球選手権大会において、創部以来初となる全国4強入りを果たした。

全国出場をかけた関甲新春季リーグの最終戦では、全勝で並ぶ上武大学と対戦。福島圭音選手(経営学部4年)の初回本塁打が決勝点となり、2-0で競り勝ち2019年秋季以来6季ぶりに優勝。5年ぶり5回目の神宮への切符を手にした。

6月6日に行われた環太平洋大学との2回戦は、先発した松永大輝選手(経営学部2年)が4安打無死球の好投で完封。8回に浅野空我選手(経営学部4年)が本塁打を打ち、投手戦を制した。続く

8日の鹿屋体育大学との準々決勝では、4回に千葉蓮選手(経営学部4年)の本塁打で先制。6回には佐々木駿介選手(経営学部4年)らのヒットで一挙3点を追加。投げては、山田怜卓選手(経営学部4年)と松永選手の2枚看板が継投で追撃をかわして、逃げ切った。

10日の準決勝では過去6回優勝の強豪・明治大学に対し、終盤の8回まで2点差の接戦を演じた。0-6で完封負けを喫し決勝進出はならなかったが、藤田慎二監督は「選手たちは新しい扉を開いてくれた。全国の大学で4強は大きな財産。この悔しさとともに次につなげたい」と秋のリーグを誓った。

軟式野球部が、2023年度北関東大学軟式野球連盟春季リーグ戦1部において全勝し、14回目の優勝を果たした。

同部は8月に長野県で開催される「第3回全日本大学軟式野球選抜大会」へ北関東代表として出場し、3年連続の全国制覇をめざす。

軟式野球部 全国三連覇へ

軟式野球部



女子バスケット部が10年ぶりに春の大会制覇

女子バスケットボール部が第57回関東大学女子バスケットボール選手権大会で優勝を飾った。

春の大会を制するのは10年ぶり2度目。5月7日に行われた決勝では、東京医療保健大学に対し第1クォーターから流れを掴んで終始リード。後半に点差が詰まる場面もあったものの主導権を握り続け、82-72で勝利した。個人ではオコンクウォスーザンアマカ選手(経営学部3年)が最優秀選手賞とリバウンド



歓喜に満ち溢れる選手たち

男子バスケット部がWUBS出場

男子バスケットボール部が8月に東京都で開催される国際大会「World University Basketball Series」(WUBS)に出場する。同大会は各国トップレベルの大学男子バスケットボールチームを対象に行われるもので、第2回となる今回は米国、インドネシアなど

7つの国と地域から計8大学が参加。日本勢としては昨年のインカレ優勝の東海大学、準優勝の本学が頂点をめざす。



オフェンスを牽引する脇選手

模擬検察審査会を実施

法学部・法政策研究所の共催による「模擬検察審査会」が2月10日に行われた。模擬検察審査会の実施例は少なく、全国的に見ても本学が3例目。

今回は「眠り姫準強制わいせつ致傷事件」をテーマに、11名の審査員(市民)や審査補助員(弁護士)に扮した学生らが、「童話『眠り姫』に登場する王子様は「準強制わいせつ致傷罪」で起訴されるべきか不起訴でよいか」について議論。ストーリーは平山真理



高校生から老人まで幅広いキャラクターを設定して議論した

第27回全日本高校・大学生書道展で山口敬也さんが最高賞を受賞

日本の優れた伝統文化である「書」の発展と、次世代を担う若者の育成をめざす学生書道のグランプリ「第27回全日本高校・大学生書道展」(主催・読売新聞社、公益社団法人日本書芸院)で、2022年8月、山口敬也(教育学部4年・当時)さんの作品が大賞の一つである平助筆復古賞に選ばれた。

山口さんは左利きで、学校の書写の授業が苦手だったことがきっかけで小学3年生から書道を習い始め、書道歴13年目。同書道展は今回で4度目の挑戦で、高校3年生の時に受賞した展覧を超える結果となった。

「今年は教員採用試験の勉強をやりながらの応募になりましたが、最後のチャン



雅号は「山口敬峯」

ゼミナール(法学部)が約半年をかけて制作した。終演後には弁護士西村健氏と朝日新聞編集委員の豊秀氏による総評が行われ、検察審査会という情報量の少ない題材に挑んだ学生のチャレンジ精神と熱演が称賛された。

学校法人白鷗大学 2022年度決算報告

【事業活動収支計算書】2022年4月1日から2023年3月31日まで

事業活動収支計算書は、経営の状況について表したものであり、企業会計における「損益計算書」に近似したものです。2022年度の基本金組入前当年度収支差額は、4億1,500万円のプラスとなりました。

(単位：円)

部	科目	予算額	決算額	差異
教育活動収入	学生生徒等納付金	6,223,240,000	6,273,830,869	△ 50,590,869
	手数料	186,050,000	172,190,132	13,859,868
	寄付金	13,710,000	20,908,017	△ 7,198,017
	経常費等補助金	1,127,280,000	1,156,776,944	△ 29,496,944
	国庫補助金	506,070,000	526,002,900	△ 19,932,900
	地方公共団体補助金	621,210,000	630,774,044	△ 9,564,044
	付随事業収入	7,400,000	12,679,616	△ 5,279,616
	雑収入	317,342,500	341,932,834	△ 24,590,334
	教育活動収入計	7,875,022,500	7,978,318,412	△ 103,295,912
	支出の部	人件費	3,901,987,740	3,878,032,898
教育研究経費		3,268,630,000	3,239,944,266	28,685,734
管理経費		876,931,315	771,812,600	105,118,715
徴収不能額等		0	0	0
教育活動支出計		8,047,549,055	7,889,789,764	157,759,291
教育活動収支差額		△ 172,526,555	88,528,648	△ 261,055,203
教育活動外収入	受取利息・配当金	229,500,200	262,095,665	△ 32,595,465
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	229,500,200	262,095,665	△ 32,595,465
	支出の部	借入金利息	11,340,000	11,175,444
教育活動外支出	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	11,340,000	11,175,444	164,556
	教育活動外収支差額	218,160,200	250,920,221	△ 32,760,021
経常収支差額		45,633,645	339,448,869	△ 293,815,224
特別収入	資産売却差額	45,000,000	50,127,772	△ 5,127,772
	その他の特別収入	23,869,000	30,411,144	△ 6,542,144
	特別収入計	68,869,000	80,538,916	△ 11,669,916
	支出の部	資産処分差額	0	4,123,754
特別支出	その他の特別支出	0	315,700	△ 315,700
	特別支出計	0	4,439,454	△ 4,439,454
特別収支差額		68,869,000	76,099,462	△ 7,230,462
〔予備費〕		(47,000,000)	30,000,000	30,000,000
基本金組入前当年度収支差額		111,502,645	415,548,331	△ 304,045,686
基本金組入額合計		△ 1,109,000,000	△ 1,689,800,243	580,800,243
当年度収支差額		△ 997,497,355	△ 1,274,251,912	276,754,557
前年度繰越収支差額		△ 10,198,276,034	△ 10,198,276,034	0
基本金取崩額		0	3,067,400	△ 3,067,400
翌年度繰越収支差額		△ 11,195,773,389	△ 11,469,460,546	273,687,157
(参考)				
事業活動収入計		8,173,391,700	8,320,952,993	△ 147,561,293
事業活動支出計		8,061,889,055	7,905,404,662	156,484,393

主として入学検定料です。

主として大学への補助金です。

主として高校、中学、幼稚園への補助金です。

減価償却費を含んでいるため資金収支計算書と異なります。

主として有価証券の売却益です。

主として大学の施設整備補助金です。

事業概要

2022年度決算について掲載します。この決算書は法人全体のものです。

新型コロナウイルス自体は完全には終息していませんが、その影響はほとんどなくなりました。授業はコロナ禍前と同様に完全対面授業としております。ただし、感染防止対策は引き続き実施しております。4月の入学式においては保護者の出席が、3月の卒業式においては保護者の方々にもご出席いただけるようになりました。

就職活動における面接においても遠隔で行われることが多かったのですが、対面でも行われるようになり、新型コロナウイルスの影響はほとんどなくなってきました。就職率の結果とすると前年度98.8%から0.8%上昇し99.6%となりました。業種的にも例年同様の業界へ就職を

しております。これから大学進学をされる方々におかれましては一つの目安になりうると思われまします。

課題としていた足利高等学校富田キャンパスの校舎と足利中学校の校舎の老朽化問題(建替え)につきましては2022年11月より着手しております。完成予定は2024年1月を予定しております。2024年4月から新校舎での授業が開始される予定です。はくおう幼稚園の水害対策としての移設問題は継続して検討しております。

白鷗大学は、小山市・栃木市・結城市との包括連携協定や近隣の高校数校との高次連携協定、また足利銀行との地方創生の推進に関する協定や栃木県との協定もしています。地域振興や街づくりに対して協力しながら地域社会に貢献していく所存です。

決算概要

事業活動収支において、収入面では学生生徒等納付金が前年度比37百万円増加し62億73百万円となりました。経常費等補助金は前年比80百万円増加し11億56百万円となりました。一方、費用面では、教育研究経費は光熱水費や奨学金の増加をはじめとし他の経費も増加の傾向にあり前年度比89百万円増加し32億39百万円となり、管理経費は前年度比18百万円増加し7億71百万円となり、本業である教育活動の収支状況を表す教育活動収支差額は前年度比3億28百万円減少し、88百万円となりました。

また、教育活動外収支差額は2億50百万円あり経常収支は前年度比2億77百万円減少し3億39百万円のプラスとなりました。

さらに特別収入は有価証券売却差額等があり前年度比64百万円の増加、特別支出は図書除却損等がありますが前年度比27百万円減少し4百万円とな

りました。それらにより基本金組入前当年度収支差額は、前年度比1億84百万円減少し、4億15百万円となりました。

資金収支としては、収入の増加や補助金収入の増加、特定資産の償還の増加、借入金等収入により前年度比11億52百万円の増加となりました。支出の部は教育研究経費支出をはじめとし全体的に増加しておりますが、建設仮勘定の増加等により11億52百万円の増加となりました。その結果、翌年度繰越支払金は、96百万円減少し、50億円となりました。

貸借対照表としては、建設仮勘定の増加等により固定資産が10億60百万円増加しました。流動資産は、現預金の減少や有価証券の減少等により3億40百万円減少しました。純資産の部は4億15百万円増加しました。

【貸借対照表】2023年3月31日

貸借対照表は、学校法人の期末における資産と負債・基本金・繰越収支差額の状態を表示して、財政状態を表しています。資産総額から負債総額を差し引いた「正味財産」は4億1,500万円増加し、355億4,026万円となりました。

(単位：円)

科目	2022年度末	2021年度末	増減
資産の部			
固定資産	32,068,074,477	31,007,648,627	1,060,425,850
有形固定資産	29,145,037,137	28,033,984,095	1,111,053,042
土地	5,884,346,974	5,884,782,590	△ 435,616
建物	17,896,490,328	18,504,719,594	△ 608,229,266
構築物	906,355,394	1,027,109,188	△ 120,753,794
教育研究用機器備品	826,225,178	926,531,494	△ 100,306,316
管理用機器備品	321,952,336	348,531,212	△ 26,578,876
図書	1,270,955,005	1,249,451,941	21,503,064
車両	23,617,922	13,487,076	10,130,846
建設仮勘定	2,015,094,000	79,371,000	1,935,723,000
特定資産	2,239,786,246	2,334,378,492	△ 94,592,246
退職給与引当特定資産	1,070,151,146	1,079,452,382	△ 9,301,236
減価償却引当特定資産	1,169,635,100	1,254,926,110	△ 85,291,010
その他の固定資産	683,251,094	639,286,040	43,965,054
借地権	288,327,257	291,394,657	△ 3,067,400
投資有価証券	4,944,153	4,944,153	0
その他	389,979,684	342,947,230	47,032,454
流動資産	7,938,078,366	8,278,668,358	△ 340,589,992
現金預金	5,000,922,332	5,097,406,136	△ 96,483,804
有価証券	2,500,506,875	2,810,605,734	△ 310,098,859
その他	436,649,159	370,656,488	65,992,671
資産の部合計	40,006,152,843	39,286,316,985	719,835,858
負債の部			
固定負債	1,073,007,663	1,471,255,661	△ 398,247,998
長期借入金	0	400,000,000	△ 400,000,000
退職給与引当金	1,073,007,663	1,071,255,661	1,752,002
流動負債	3,392,876,421	2,690,340,896	702,535,525
短期借入金	1,600,000,000	800,000,000	800,000,000
前受金	1,371,928,269	1,328,948,261	42,980,008
その他	420,948,152	561,392,635	△ 140,444,483
負債の部合計	4,465,884,084	4,161,596,557	304,287,527
純資産の部			
基本金	47,009,729,305	45,322,996,462	1,686,732,843
第1号基本金	46,519,729,305	44,832,996,462	1,686,732,843
第4号基本金	490,000,000	490,000,000	0
繰越収支差額	△ 11,469,460,546	△ 10,198,276,034	△ 1,271,184,512
翌年度繰越収支差額	△ 11,469,460,546	△ 10,198,276,034	△ 1,271,184,512
純資産の部合計	35,540,268,759	35,124,720,428	415,548,331
負債及び純資産の部合計	40,006,152,843	39,286,316,985	719,835,858

土地と図書以外の有形固定資産については、減価償却累計額を控除して表示しています。

主として減価償却による減少です。

主として高校・中学新校舎建築の前払いです。

在職スタッフの退職金に備えるものです。

減価償却をする有形固定資産に備えるものです。

主として、保険積立金です。

退職者に対する未収入金の増加です。

借入返済に伴い、短期借入金へ振替えたための減少です。

高校・中学新校舎建築代金の支払いのため12億の借入を実行しています。

固定資産の維持取得に係る基本金です。

必要な運転資金維持に係る基本金です。

【資金収支計算書】2022年4月1日から2023年3月31日まで

資金収支計算書は、一年間の収入・支出ごとの資金の流れの総額を表したものであり、企業会計における「キャッシュフロー計算書」に近似したものです。資金収支の総額は160億9,066万円であり、2023年度への繰越支払金は50億92万円となっております。

収入の部 (単位：円)

科目	予算額	決算額	差異
学生生徒等納付金収入	6,223,240,000	6,273,830,869	△ 50,590,869
手数料収入	186,050,000	172,190,132	13,859,868
寄付金収入	15,160,000	22,641,043	△ 7,481,043
補助金収入	1,149,699,000	1,179,195,944	△ 29,496,944
国庫補助金収入	528,489,000	548,421,900	△ 19,932,900
地方公共団体補助金収入	621,210,000	630,774,044	△ 9,564,044
資産売却収入	582,500,000	584,550,489	△ 2,050,489
付随事業・収益事業収入	7,400,000	12,930,356	△ 5,530,356
受取利息・配当金収入	229,500,200	259,713,985	△ 30,213,785
雑収入	317,342,500	344,855,727	△ 27,513,227
借入金等収入	1,200,000,000	1,200,000,000	0
前受金収入	1,277,100,000	1,371,928,269	△ 94,828,269
その他の収入	1,251,336,269	1,244,153,160	7,183,109
資金収入調整勘定(注)	△ 1,652,009,761	△ 1,672,730,822	20,721,061
前年度繰越支払資金	5,097,406,136	5,097,406,136	0
収入の部合計	15,884,724,344	16,090,665,288	△ 205,940,944

主として有価証券の売却収入です。

主として2023年度入学者の入学料、授業料等の学生納付金です。

主として特定資産の償還収入です。

支出の部

科目	予算額	決算額	差異
人件費支出	3,897,987,740	3,875,745,999	22,241,741
教育研究経費支出	2,268,430,000	2,242,930,862	25,499,138
管理経費支出	729,528,000	615,790,289	113,737,711
借入金等利息支出	11,340,000	11,175,444	164,556
借入金等返済支出	800,000,000	800,000,000	0
施設関係支出	2,233,000,000	2,188,024,280	44,975,720
設備関係支出	124,660,000	105,392,189	19,267,811
資産運用支出	898,000,000	932,059,238	△ 34,059,238
その他の支出	621,792,635	654,564,200	△ 32,771,565
〔予備費〕	(47,000,000)	3,000,000	(47,000,000)
資金支出調整勘定(注)	△ 391,077,248	△ 335,939,545	△ 55,137,703
翌年度繰越支払資金	4,688,063,217	5,000,922,332	△ 312,859,115
支出の部合計	15,884,724,344	16,090,665,288	△ 205,940,944

主として高校・中学新校舎建築の前払金です。

主として大学の機器備品の支払です。

特定資産の償還に対する代替購入によるものです。

(注) 資金収入調整勘定及び資金支出調整勘定について

学校法人会計における資金収支計算の目的は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容当該会計年度における支払資金の収入及び支出とそとの年末を明らかにすることとされています。そのため収入・支出ともに調整勘定が設けられています。なお、資金収入調整勘定には期末未収入金及び前期末前受金、資金支出調整勘定には期末未払金及び前期末前払金を計上しています。

就職率 公務員 公立学校教員

昨年度を上回る99・6% 138人が合格 219人が合格

うち現役合格者は過去最多の135人

2022年度卒業生の就職率は、99・6%（前年比0・8ポイント上昇）であった。1年次から職業観を養うサポートがあり、早い段階から進路計画を立てることで、多くの学生が志願する業種や企業への就職を果たしている。

進路支援は、進路支援課・教職支援室・公務員支援室・資格支援課で構成されるキャリアサポートセンターが担当。自身の適性と将来計画を考えた目的意識を持った就職活動を主体的に行えるよう、ガイダンスやビジネスセミナーなどの各種講座、キャリアコンサルタント

有資格者や企業の採用経験者のスタッフによる本番さながらの模擬面接など、さまざまな支援をしている。

公務員や教員志願者に対する支援も充実。官公庁の採用担当者が講師となる「公務員業務説明会」、地域の小中学校で児童や生徒の学習活動や部活動等の支援をし、教育実習前から教育現場の経験を積むことができる「スクールサポート」も学生から好評だ。

公務員試験では、栃木県庁などの県市町村職員には68人が合格。警察官に35人、公立保育士に7人、消防官に10人、自衛

官に7人、国家一般職に5人、国税専門官に3人、労働基準監督官に2人、法務省専門職員（人間科学）に1人それぞれ合格した。

また、公立学校教員採用試験合格者（臨時的任用除く）は、新卒135人、既卒84人の合計219人。現役合格者数は過去

最多を更新した。うち、180人が小学校教諭、中学校教諭31人、高等学校教諭1人、特別支援学校教諭7人であった。さらに、幼児教育・保育コースは、保育士26人、保育教諭23人、幼稚園教諭5人、児童指導員等8人が専門系に就職した。

学位記・卒業証書1179人に授与

2022年度白鷗大学学位記・卒業証書授与式が3月18日に挙行され、1179名が新たな一歩を踏み出した。北山修学長は「コロナ禍で不十分であったも、何よりもベストを尽くして、共に苦闘した日々は、私たちも決して忘れません。新しい問題や課題の連続で、私たちは揉まれて鍛えられ強くなったはずです。大学生活では、体は離れていても、心は一つという瞬間も多くあったと言ってもらえるなら幸いです。このような創意工夫と試行錯誤に満ちた体験や思い出は、私たちに

とってこれから役立つ宝」と卒業生を激励した。

また、ハンドベル部が演奏を披露し、卒業生の門出に華を添え、最後に学歌の清聴が行われ、式典は終了した。

出席できない卒業生や保護者のために、式典の様相をインターネットでライブ配信した。



晴れやかな表情の卒業生たち

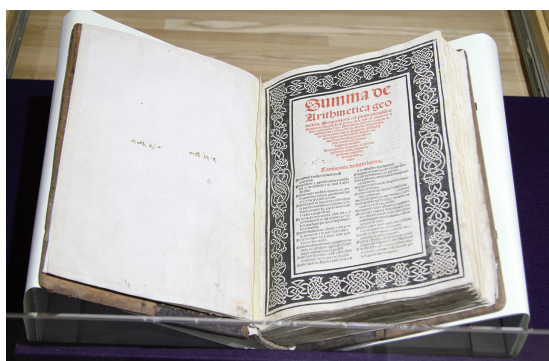
貴重書

『スママ・デ・アリスメティカ』の修復が完了

会計学の父と呼ばれるルカ・パチョーリ (Pacioli, Luca) 作『スママ・デ・アリスメティカ (Summa de Arithmetica)』。簿記学の原点といわれる書物で、印刷形態をとった世界最初の複式簿記解説文献と位置づけられる世界的な貴重書である。2001年当時、白鷗大学総合図書館長の渡辺金愛先生の尽力により1523年に発行された第2版を取得。大行寺キャンパスの図書館に展示していたが、2015年の猛烈な豪雨の影響で図書館が浸水被害を受け、スママも水に浸かる悲劇に見舞われていた。

その後、書物修復の専門家に委ねること約8年。このたび修復が完了し、再び本学の図書館に迎えられることになった。

修復過程においては過去の修復の痕跡が複数見つかり、初版本（1494年出版）のページが発見されるとい



元の姿によみがえった「スママ」

想外の展開もあった。同じ第2版を所蔵する明治大学図書館に協力を依頼し、当該ページは第2版に差し替えて修復された。

書物にとって致命的ともいえる浸水被害からの復活という新たな歴史が加わった『スママ・デ・アリスメティカ』は、現在は本キャンパス図書館2階に展示されている。

新たに

「昼食無料サービス」をスタート

新年度を迎える学生の生活のサポートとともに、最近の記録的な物価高騰に対応するための学生への経済的支援を目的として、今年度に初めて「昼食無料サービス」を実施した。

本年度はより多くの学生を経済的に支援するため、本キャンパスおよび大行寺キャンパスにおいて4月に昼食を無料で提供。連日多くの学生で賑わい、日替わりでカレー

は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止していたが、2022年に再開。栄養バランスも考慮されたメニューで、多くの学生が利用してきた。

今年度はより多くの学生を経済的に支援するため、本キャンパスおよび大行寺キャンパスにおいて4月に昼食を無料で提供。連日多くの学生で賑わい、日替わりでカレー

また、本キャンパスの学生食堂シェアアールにおいては、年間を通して1食100円で朝食を提供。5月以降も規則正しい生活を送れるようサポートを続けている。



教員人事

【新任】(2023年4月1日付)

経営学部 山崎 純
特任教授 岩永 安浩
教授 築田 香織
法学部 岩崎 忠
教授 小島 望

教育学部 佐竹壮一郎
講師

【昇格】(2023年4月1日付)
経営学部 坂本 洋子
特任准教授 佐藤 智信
教育学部 齋藤 千明
教授 齋藤 千明

【退職】(2023年3月31日付)
経営学部 國方 俊男
特任教授 樋口 和彦
教授 樋口 和彦

法学部 市村 充章
教授

教授 児玉 博昭
教授 清水 正義

教育学部 荒井 弘高
教授 竹島 克己
教授 渡邊 忠
講師 HOOPER DANIEL JENNARD

【お悔やみ】
経営学部教授 大瀧 眞 89歳
(2022年11月逝去)

新たに6名が名誉教授に

2022年度に白鷗大学名誉教授の称号を授与された先生は次のとおり。
樋口 和彦(経営学部)
市村 充章(法学部)
清水 正義(法学部)
荒井 弘高(教育学部)
竹島 克己(教育学部)
渡邊 忠(教育学部)

* 役職・学年は当時のもの。